

日本型フォレスター育成研修事業（新規）

【平成23年度概算決定額 1 6 1 , 1 7 0 (0) 千円】

事業のポイント

地域の森林づくりの全体像を描く日本型フォレスターを育成します。

- ・ 利用期を迎えた人工林資源を活用した持続的な森林経営を全国各地で進めるために、そのベースとなる、各地域における長期的視点に立った森林づくりのマスタープランを作成し、その実行に向け指導し得る技術者が必要。
- ・ このため、森林・林業に関する専門知識・技術等に一定の資質を有したフォレスターを育成し、市町村森林整備計画の策定等市町村が行う行政事務を支援することが必要。

政策目標

- ・ 平成25年度から日本型フォレスターの認定を開始します。

< 内容 >

1. 通信研修等の実施

技術のレベルアップを図りつつ弱点分野を補強するため、特定の課題を与えてレポートの提出を求める通信研修等を実施します。

2. 市町村森林整備計画等に関する集合研修の実施

市町村森林整備計画及び森林経営計画（仮称）の作成等に必要な知識を身につけるため、現地実習を取り入れた研修を実施します。

< 委託先 >

民間団体

< 事業実施期間 >

平成23年度～平成27年度（5年間）

[担当課：林野庁研究・保全課]